

# 文化創造都市戦略のコア構築— クリエイティブ産業の育成・振興方策

創造とイノベーションが新産業システムの  
転換を促進し、コミュニティと経済を活性化させる

日時：2013年 12月 2日(月) 13:00～16:40

【講師】 後藤 和子氏

会場：アルカディア市ヶ谷・会議室 (東京・千代田区)

埼玉大学経済学部・大学院経済科学研究科 教授

時	講義内容
13:00	<p>1. クリエイティブ産業とは ～その定義と意義～</p> <p>2. 都市・地域の政策課題としての地域活性化とクリエイティブ産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイティブ産業の集積と都市空間～東京都などの事例～</li> <li>・文化産業政策                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①小さなビジネスへの支援</li> <li>②法に関わる政策</li> <li>③イノベーション政策</li> <li>④市場開拓や文化観光への政策</li> <li>⑤教育(人材育成)</li> </ul> </li> </ul>
(休憩)	
15:30	<p>・クリエイティブ・シティ戦略と文化的価値</p> <p>3. クリエイティブ産業のインセンティブ設計：著作権と税制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権産業をめぐる議論、事例</li> <li>・補助金から税制による支援の可能性～海外における文化税制のトレンド</li> </ul> <p>4. 日本の伝統工芸とイノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸産業の新しい形</li> <li>・政策に求められる視点</li> </ul> <p>5. 農村と地方都市におけるクリエイティブ産業発展の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光と地域振興：「文化観光」という新しい視点を導入する</li> <li>・地方都市におけるクリエイティブ産業展開の可能性</li> </ul>
15:45	<p>■クリエイティブ産業の定義(イギリス/1998年) 個人の創造性やスキル、才能を基礎とし、知的財産権の生成と開発を通じて、富と雇用のポテンシャルを有する産業。</p> <p>■クリエイティブ産業と定義される13分野の産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①広告</li> <li>②建築</li> <li>③アートと骨董</li> <li>④工芸</li> <li>⑤デザイン</li> <li>⑥デザイナーファッション</li> <li>⑦フィルムとビデオ</li> <li>⑧インタラクティブ・レジャー ソフトウェア(ゲーム)</li> <li>⑨音楽</li> <li>⑩舞台芸術</li> <li>⑪出版</li> <li>⑫ソフトウェア</li> <li>⑬テレビとラジオ</li> </ul>
16:40	
	<p>【講師・後藤氏と参加者との意見交換・質疑応答】 進行・コメンテーター：事務局</p>

【講師略歴】 京大文学部卒業。同大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。1998年 埼玉大学経済学部助教授。2004年 同大学経済学部教授。2004～05年 オランダ・エラスムス大学ロッテルダム客員教授。1998年より 学会誌『文化経済学』に編集主幹や編集長、編集委員として携わる。2006年より日本地域経済学会理事、国際文化経済学会(Association for cultural economics international)理事。文化経済学会<日本>会長を務めていた12年6月には、国際文化経済学会大会を京都にて開催。現在は協力メンバーとして理事会に参加している。これまでに文化庁文化審議会文化政策部会委員、経済産業省クリエイティブ産業課の委員、東京都産業労働局クリエイティブ産業調査アドバイザー、東京都芸術文化評議会専門委員等も務める。



【近著『クリエイティブ産業の経済学』、有斐閣、2013年、「はじめに」より】

クリエイティブ産業は、文化産業や著作権産業と呼ばれることもある。今日、財政赤字と不安定な世界経済情勢の中で求められているのは、創造とイノベーションに基づく新しい産業システムへの転換、それによる雇用の創出や、新たな社会的連帯の形であろう。そうした中で、クリエイティブ産業といえは、他の主要産業のかたわらで日本の魅力を発信する小さな産業というイメージ、あるいは、今後の経済成長を牽引する産業という期待もあるかもしれない。しかし、クリエイティブ産業の最も大きなインパクトは、経済成長や輸出の促進、雇用の創出といった量的インパクトより、他の産業システムに影響を与え、新たな経済システムへの転換を促進する点にある。

☆埼玉大学ホームページ([http://www.saitama-u.ac.jp/iron/keyaki/keyaki3/report/goto\\_kazuko/](http://www.saitama-u.ac.jp/iron/keyaki/keyaki3/report/goto_kazuko/))もご覧ください。

【参加要領】(申込用紙は裏面)

会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)・会議室  
東京都千代田区九段北4-2-25

TEL03-3261-9921 (案内図は申込後送付)

参加費  
(1名)

	1名 参加	2名以上参加
行政・議員	15,000円	14,000円
一般	25,000円	24,000円

※メディア参加申込の方へは開催後にCD(講演収録)と資料及び請求書をお送りします。当日参加で申込後に欠席される場合には代理の方の出席もしくはメディア参加とさせていただきます。